

第26回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成26年1月

応募者名：奈良県 まちづくり推進局

地域デザイン推進課

事業の名称：JR奈良駅付近連続立体交差事業

実施都市名：奈良県 奈良市

事業目的

JR奈良駅付近連続立体交差事業は、奈良市の中心市街地を分断している鉄道を立体化することにより、踏切遮断による交通渋滞や踏切事故を解消し、交通の円滑化と安全性の確保を図るとともに、分断された市街地を一体化し、地域の活性化を促進することを目的としている。

事業概要

事業名称: JR奈良駅付近連続立体交差事業

路線名: JR関西線・桜井線

事業箇所: 奈良市法蓮町～西木辻町

事業延長: 鉄道の高架化L=3.5km

幅員: 5.52～9.32m

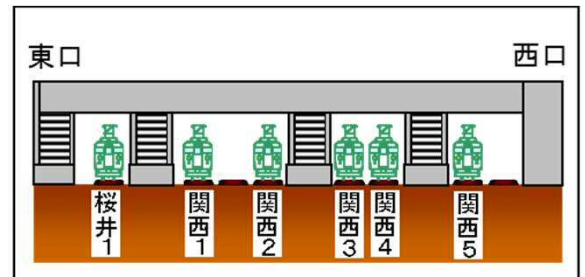
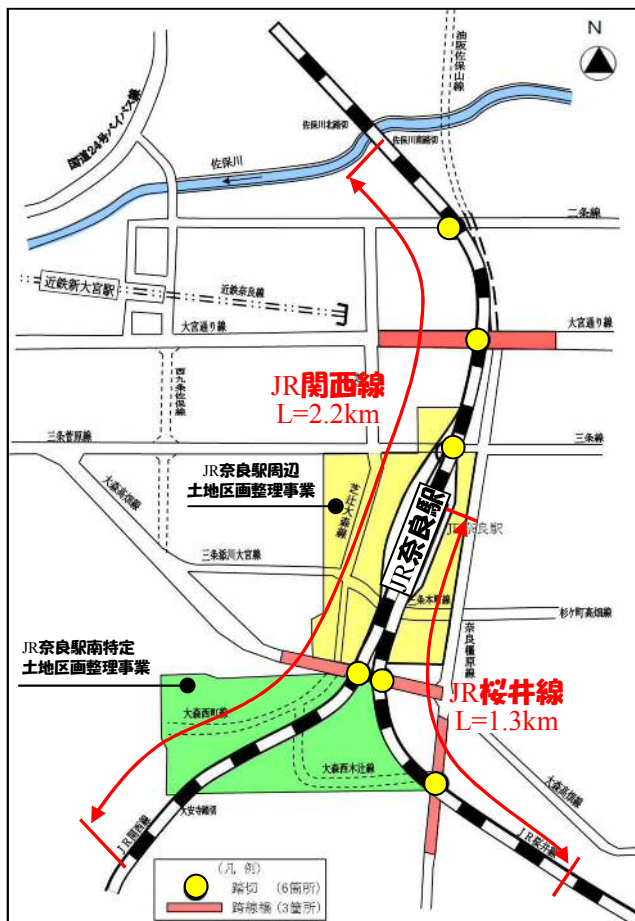
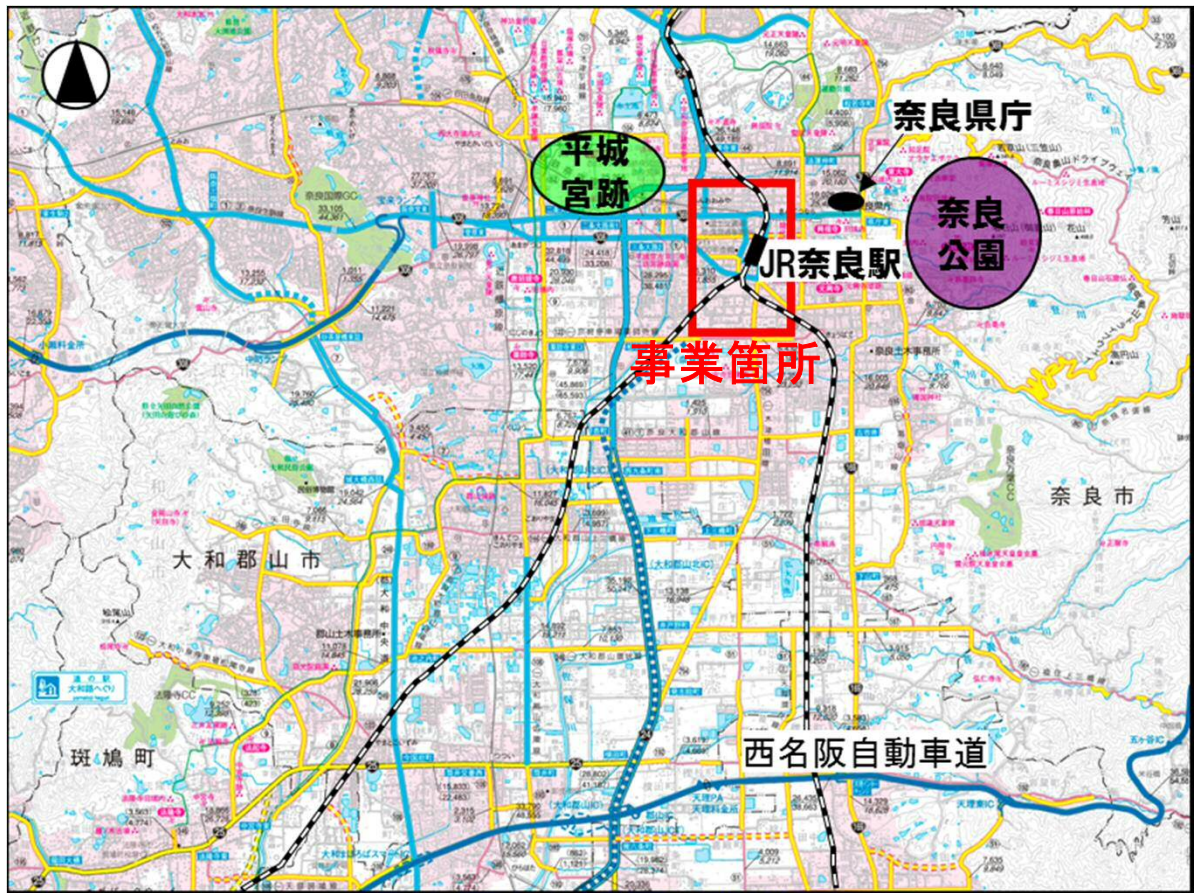
事業費: 495億円

事業実施期間: 平成9年度～平成24年度

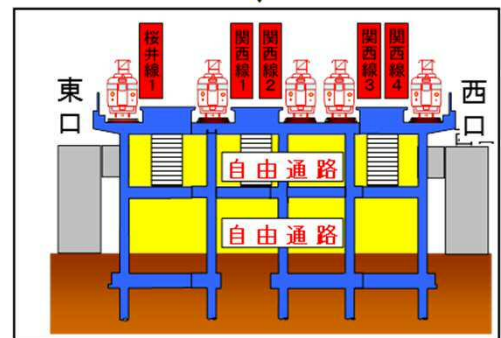
本事業は、JR奈良駅を中心に関西線(2.2km)、桜井線(1.3km)の鉄道を高架化することで、6箇所の踏切を除去し、3箇所の跨線橋を撤去するとともに、平面道路の新設、駅周辺の整備を行い、都市交通の円滑化や、市街地の一体的な発展を図る事業である。

本事業により、都市環境改善への貢献や生活の利便性向上、道路交通の渋滞緩和、地域の安全性の向上に寄与しています。

事業位置図



高架前



高架後

JR奈良駅付近連続立体交差の整備効果アピール資料



○事業概要

事業名: JR奈良駅付近連続立体交差事業
 路線名: JR関西線・桜井線
 事業箇所: 奈良市法蓮町～西木辻町
 事業延長: 鉄道の高架化L=3.5km
 幅員: 5.52～9.32m
 総事業費: 495億円
 事業期間: 平成9年度～平成24年度

踏切による渋滞の解消

- 最大1日約6.8時間あった踏切遮断時間が解消
- 最大200mあった踏切渋滞が解消



踏切撤去前

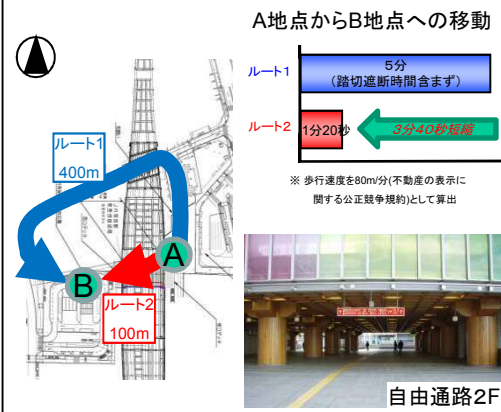


三条踏切

踏切撤去後

駅前広場の一体化

鉄道で分断されていた駅の東西が、自由通路の整備で一体化となり安全・快適に往来することが可能



高架下等の利用

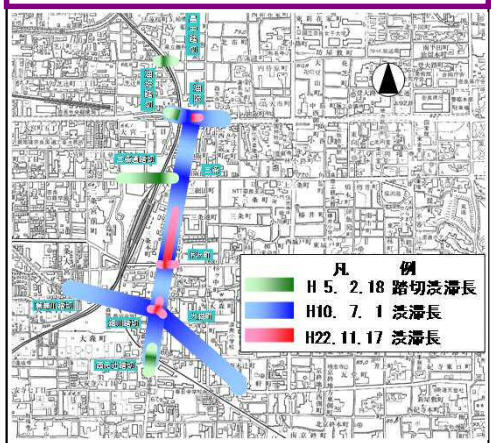
- 商業施設の誘致により、人々が集う活気と賑わいのある奈良駅を創出
- 駐車場、駐輪場の整備により、人や車の安全かつ円滑な交通を確保



高架下駐車場利用状況

高架部周辺道路の交通渋滞の解消

連続立体交差事業の実施により、周辺道路の受胎が緩和



奈良市民の評価

連続立体交差事業により、約6割以上の方が、踏切待ちのイライラ解消、歩行・走行快適性の向上を感じている。

○歩行者・自転車利用者の評価



○自動車利用者の評価



※連続立体交差事業に関するWEBアンケート調査(H23年3月実施)結果より(対象:奈良市民 サンプル数:300)

事業前写真



事業前撮影



事業前撮影



昭和58年5月撮影



平成13年6月撮影

事業後写真



平成22年6月撮影



平成22年6月撮影



平成22年6月撮影



平成23年2月撮影